

## 台湾・中原大学での語学・文化研修を終えて

東北工業大学 ライフデザイン学部  
安全安心生活デザイン学部 2年  
高田紗弓(たかだ さゆみ)

3月5日から3月26日までの3週間、私は台湾の中原大学にて充実した留学生生活を過ごすことができた。海外旅行経験もない私は、長い春休み期間を利用し、視野を広げてみようと考えこのプログラムの参加を決意した。今まで中国語に触れたことは全くなかった上、初めての海外、東北工業大学からの参加は1人だけということで心細さと不安でいっぱいだった。緊張していた私を中原大学のメンバーは暖かく迎えてくれ、とても嬉しかった。はじめは自己紹介もまともにできなかったが、同じ中級クラスのクラスメートや先生方、パートナーのおかげで簡単な中国語ができるようになった。しかし、中国語が聞き取れず、うまくコミュニケーションをとれない場面が多くあり何度も悔しい思いをした。1日1日が経つほど中原大学のメンバー、台湾への愛着が芽生え、もっと中国語を学びたいと思うようになった。

授業は1日6時間程あり、その後1時間の発音中心レッスンがあった。中国語は日本語にはない発音の仕方とイントネーションがあるため、とても苦戦した。最終週にはクラスごとの成果発表があり、1on1レッスンをしてくれた小老師、3週間中国語を教えてくれた老師、そしてパートナーたちに感謝を込めて精一杯勉強の成果を発表した。直前までステージ構成とマイクの本数が分からなかった為に、私が1人で前に立って歌を歌ったのもとても面白かった。

食事は大学の近くの食堂や夜市を利用した。私もパートナーも食べることが大好きなために、いろいろな食べ物やお店を教えてもらい毎日台湾美食を堪能することができた。特に、“地瓜球”という、さつま芋から作るおやつは本当に美味しかった。プログラム内の文化体験の中で地瓜球を作るというものもあった。地瓜球は日本人にも台湾人にも人気のおやつのようなのだ。

休日には台南、台中、台北に連れて行ってくれた。私は台南と台北の気候が全く違うことに驚いた。ちょうど雨季が被ってしまっていることもあって台北は比較的肌寒かったのだが、台南はまるで夏のようなだった。台中では九族文化村、日月潭へ行った。日月潭は台湾最大の淡水湖でロープウェイに乗って見下ろした時の美しさは今でも忘れられない。

3週間、台湾の名所や食べ物、文化、人の優しさに触れ、私は本当に台湾が大好きになった。留学前は長い3週間だと思っていたが、毎日一緒に登校し、食事をし、「おやすみ」の挨拶を交わす日々が本当に楽しく充実していた。もし彼らと対等に会話ができたら更に楽しかっただろう、と日本に帰国してから何度も考えた。このプログラムに参加したことは、私自身の大きな成長に繋がったと実感している。プログラムを終えて、私には新たな目標が出来た。私はもう一度必ず彼らに会いに行き、今度は自分の気持ちを自分の言葉で伝えたい。そして

彼らを驚かせたい。

プログラムで出会った早稲田大学、新潟大学、関西大学、東京電機大学の生徒の方々にも本当にお世話になった。今後も良い友人関係を築いていきたい。

今までの私は本当に狭い視野で生きてきたのだと実感した。1人でも勇気を出して参加してよかったと心から思っている。この短期留学の思い出は、私の人生で一番の宝物になるだろう。もっと中国語を学んで、必ずまた台湾に帰りたい。

謝謝,大家！ 我愛台灣！



パートナーの品璇さんと(本人右)



成果発表後みんなで